

岸和田平成病院の ご案内

About
Kishiwada Heisei Hospital





絶対に見捨てない。

いたい、つらい、くるしい、かなしい。

わからない、しらない、なぜ、どうして。

不安なあなたの手を、どうかさしだしてください。

私たちは必ずその手をとります。

助けを求めるすべての人へ、絶対に見捨てない医療を。



岸和田平成病院

KISHIWADA HEISEI HOSPITAL



岸和田平成病院 院長

荒尾 徳三

当院は1950年の開設以来、岸和田北部を中心に地域医療を行い、2014年8月に岸和田平成病院として名称変更を行い新築移転しました。

病室は、ベッド数149床のうち62床を個室とし、プライバシーに配慮した環境を整えました。回復期リハビリテーション病棟では、在宅復帰、社会復帰を目的にリハビリテーションを集中的に実施。医療療養病棟では、急性期医療の治療は終了したものの、まだ継続的な医療提供の必要度が高く、ご自宅での療養には不安が残る患者さんに安心して療養していただける入院環境を備えております。

また、退院後も安心して在宅生活を過ごしていただくために在宅サービスを充実させ、切れ目なく在宅復帰へと結びつけることができるよう必要な支援を行っております。今後も地域社会に貢献できる医療機関としての役割を果たしてまいります。

内科



専門性に限った診察を行うのではなく、内科疾患全般について広い視野を持って診察を行います。また、病診・病病連携を推進しております。退院後も安心して在宅生活を過ごしていただくために、近隣施設等と連携し在宅サービスを充実させ、切れ目なく在宅復帰へと結びつけることができるよう必要な支援を行っております。

こんな症状の時
受診しよう

- ・ 風邪っぽい
- ・ 高血圧
- ・ 血糖が高い
- ・ 健診で問題があった



整形外科



痛みというのは他人には理解されにくい症状であるが故に、痛みを感じている本人はより苦しいものです。また、痛みを抱えていることは大きなストレスであり、精神的な影響が出ることも少なくありません。当科では痛みの原因を正しく診断し、さまざまな対処法のなかからその人に合った方法を選択、解決を目指します。

- ・ 腰が痛い
- ・ 膝が痛い
- ・ 関節痛
- ・ 筋肉痛

こんな症状の時
受診しよう

目のご案内

地域みなさんに寄り添う医療を提供します。困ったことがあればぜひご相談ください。

リハビリテーション科

03



理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などの専門スタッフが、機能改善やホームエクササイズ等のリハビリテーションを提供し、早期回復をサポートします。また、退院後の継続したリハビリテーションも重要となってくるため、デイサービスや訪問リハビリ、外来でのリハビリテーションも実施しています。

- ・動かしにくい
- ・痛みを軽くしたい
- ・できることを増やしたい

こんな症状の時
受診しよう

当院は
リハビリテーションに
力を入れています！

くわしいリハビリテーション
の取り組みは
次ページからご紹介！



岸和田平成病院の
リハビリテーション
への向き合い方

絶対に見捨てない

病院での治療が終わり、抱えていた病気が治れば患者さんはすぐに元の生活に戻れるのでしょうか。長い療養や
当院では、その人らしい生活を取り戻すため、リハビリテーションに力を入れて取り組んでいます。リハビリテー

当院が 実践する リハビリ テーション

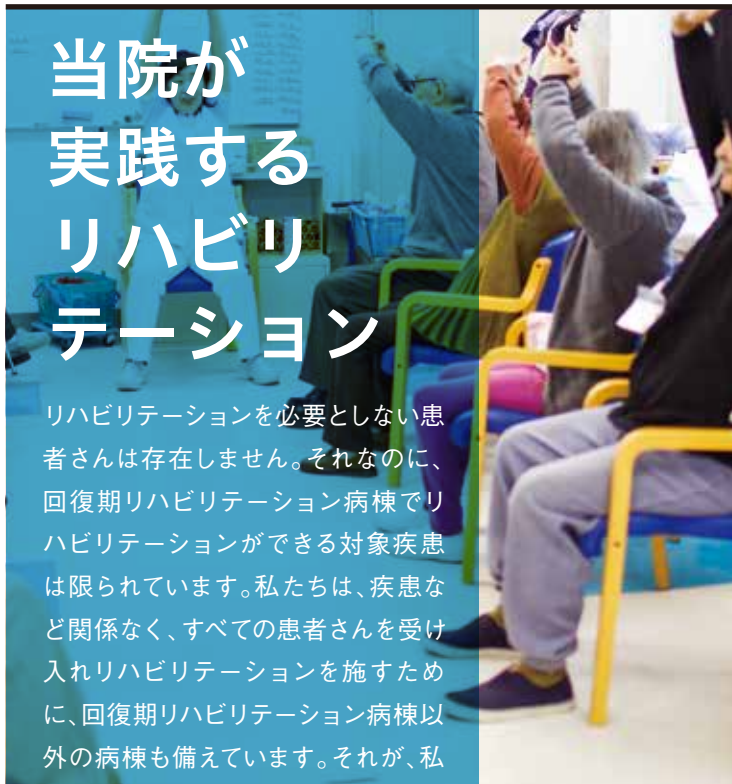
リハビリテーションを必要としない患者さんは存在しません。それなのに、回復期リハビリテーション病棟でリハビリテーションができる対象疾患は限られています。私たちは、疾患など関係なく、すべての患者さんを受け入れリハビリテーションを施すために、回復期リハビリテーション病棟以外の病棟も備えています。それが、私たちが自らをリハビリテーション病院と名乗らない理由です。限られた疾患の患者さんだけでなく、リハビリテーションを必要としているすべての人を支えたい。それが私たちの掲げる、「絶対に見捨てない。」医療です。



その人に合った リハビリテーション

私たちのリハビリテーションのスタートラインは、その人に一番最適なりハビリテーションを提案するところから始まります。そのためには、患者さん・利用者さんの病状や心身状態を的確に把握することが大切です。

当院ではリハビリテーションへのアプローチとして、inbody（体成分分析装置）を使用しています。その人の筋肉量・脂肪量・水分量を分析し、体の状態に合ったリハビリテーションを提供できるよう努めています。また、歩行練習のサポートとしてHonda 歩行アシスト（歩行訓練機器）や「HAL®」を導入することで、これまで歩行が困難だった方のリハビリテーションも可能になりました。



リハビリテーション

治療の末に、その人らしい生活が奪われてしまう。それで本当に「治った」ことになるのでしょうか。

シオンによって一人でも多くの人が自分らしい生活を取り戻せるように、私たちはリハビリテーションに取り組めます。



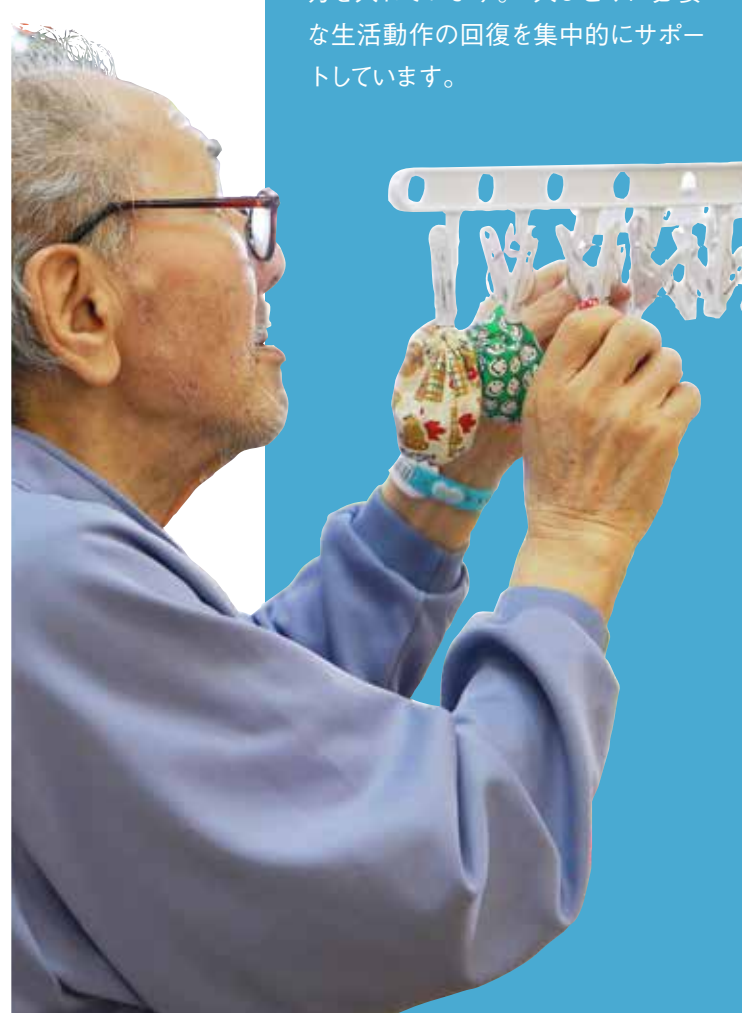
自宅に帰る ための リハビリ テーション

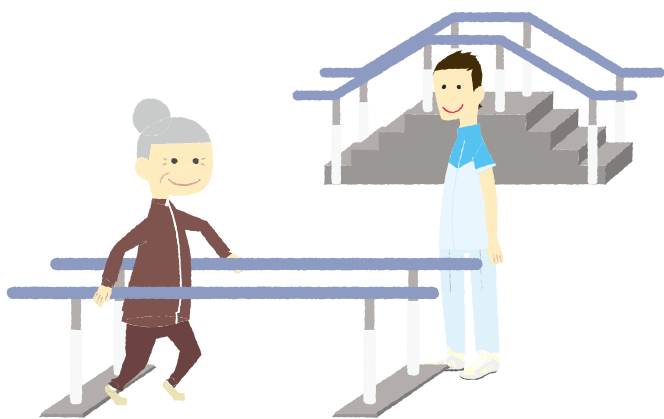
リハビリテーションに取り組む患者さん・利用者さんの一番の望みは、病気になる前のように「自分のいつもの暮らしを自分自身で行うこと」ではないでしょうか。私たちはその願いを真摯に受け止め、特に排泄・嚥下リハビリや、ADL（日常生活動作）の改善に力を入れています。一人ひとりに必要な生活動作の回復を集中的にサポートしています。



自宅へ戻った 後も続く リハビリテーション

実際にご自宅へ戻られてから、新たに問題点や不安点が生まれた場合も、私たちにご相談ください。患者さんが安全で安心できる在宅生活が続けられるように、退院後も外来リハビリや、デイサービス、訪問リハビリを続けられるサービスがあります。その際も、患者さんの入院中の情報を共有しているので、在宅復帰後も最適なりハビリテーションをスムーズに受けることができます。





当院が取り組む いろいろな リハビリ

離床への取り組み

入院生活で過度に安静な状態が続くと、身体能力の大幅な低下や精神状態に悪影響を引き起こす「廃用症候群」を招くことがあります。当院ではこの予防のため、趣味や娯楽を取り入れた、楽しみを目的とする離床や、生活に直結する目的のある離床など、徹底した取り組みを行います。目的を持って離床を行うことは、運動や認知機能低下の予防とともに、回復への最大の近道となります。

24時間365日 リハビリテーション

昼間以外の時間もリハビリテーションを提供します。退院後の生活環境や介助方法を検討するうえでも夜間の状況把握は大切となるため、当院では夜間の動作にもアプローチしています。特に夜間のトイレ動作や移動は転倒などのリスクも高く、介助に入ることでリスク回避や機能向上につなげていきます。

集団リハビリテーション

日中ベッドで寝ている時間を減らし、廃用症候群を防ぐため、他者とのふれあいや楽しみの要素を取り入れた、5～10名ほどの小集団によるリハビリテーションを行っています。お互いに協力し会話を楽しみながら、生活に必要な動作についてリハビリテーションを行うことが可能です。1日1～3時間、スタッフがさまざまなプログラムを提供し、運動や認知機能の低下予防と回復をサポートします。

個別リハビリテーション

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が1日最大3時間、個別でリハビリテーションを実施します。運動機能や認知機能、嚥下機能など、患者さんの状態を総合的に評価し、一人ひとりに合った最適なりハビリ計画を提案。集中的なりハビリテーションを提供することで、早期の在宅復帰をサポートしていきます。

ロボット リハビリテーション

脳卒中や脊髄損傷の患者さんに対して、ロボット機器を用いたリハビリテーションを実施します。歩行時の股関節の動きを検知し、コンピューター制御で足の振り出しを支援するHondaアシストや、生体電位(足の筋肉を動かすための脳からの信号)を検知し、意思に従った動きを支援するロボットスーツHAL[®]など、先端機器で患者さんをサポートします。

在宅分野での取り組み

患者さんが自分らしく安心した在宅生活を送れるよう、外来リハビリ、デイサービス、訪問リハビリを提供しています。身体機能面の治療はもちろん、生活しやすい住宅環境の設定や、介助者へ介助方法のアドバイスなども行います。

多職種協働と退院支援

リハビリテーションの効果を最大限に引き出すため、医師、看護部、介護部、栄養部など、さまざまな専門職と強力なチームを形成し、全力で在宅復帰を支援します。また、退院の際はソーシャルワーカーやケアマネジャーと協力し、さまざまな制度や施設、機関などといった社会資源の活用や、介護福祉サービスについて情報提供およびご提案をします。



総合的な リハビリテーション視点

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士はそれぞれの職種の専門性を高めながら、お互いを知り、認め、そして情報共有を行っています。例えば、在宅のリハビリテーションにおいては3職種が一緒に関われないこともあるため、自身の専門領域でない問題に出会うことも少なくありません。しかしその際も、医師や他職種への相談、または対応策を提案し、トータルな関わりができるよう、常に総合的な視点による取り組みを実施しています。

Rehabilitative Intervention for Daily Living(RIDL)

トイレや着替え、歩行など、日常生活のなかで介助が必要な動作に関して、ピンポイントで専門的なリハビリテーションの提供を行います。個別・集団リハビリに加え、一人ひとりの生活に必要な動作への絞った訓練を行うことで、目標とする動作の早期獲得につながります。

膀胱・直腸機能 リハビリテーション

尿意・便意の回復とトイレ動作の獲得は、在宅復帰における最重要課題のひとつです。自らの意志で、自らトイレで排泄を行う。健康な時であれば当たり前であった行為を取り戻すため、入院直後から早期排泄自立を徹底して意識し、一人ひとりに合わせたリハビリプログラムを実践します。



摂食・嚥下 リハビリテーション

高齢者は疾病などで状態が悪化した場合、嚥下（飲み込み）機能が低下し、疾病は治癒したものの、食事ができないために、在宅復帰ができないこともあります。これは、医学的リスクだけでなく、食の楽しみを奪い、QOL（生活の質）の低下も招く大きな問題です。その予防のため、言語聴覚士を中心に、入院後早期から嚥下機能を評価し、適切な食事とリハビリテーションで、機能訓練を行います。

ホームワークの推進

個別・集団のリハビリテーション以外の時間も有効に活用していただくため、一人ひとりに応じたホームワーク（自主的練習）を提案しています。患者さんが高いモチベーションでリハビリテーションに取り組めることは退院への近道となるため、積極的に取り組めるような訓練を提案します。

悪い慣習を
取り払う!

入院受け入れ体制

医療界にはびこる **BAD** ポイント

廃用症候群につながる



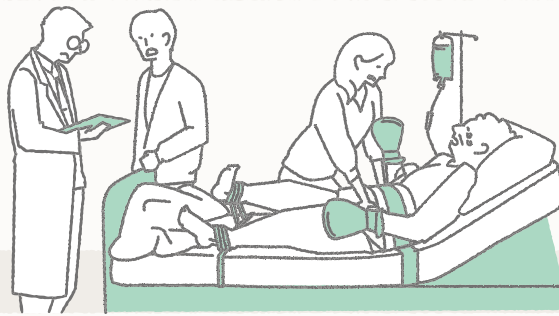
「不必要な安静」。



それは本当に

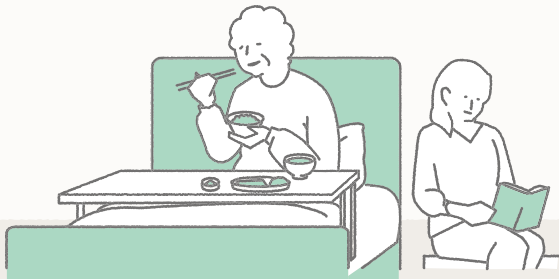
患者さんのために必要な

「抑制」?



病気を治すのは医療が中心で、

食事は「おまけ」?



在宅復帰を遅らせる、

「口から食べる」を考えもしない医療。



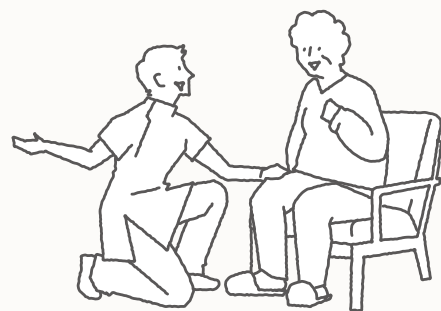
「自分でトイレ」を遠ざける、

「なんとなくそのまま」な

排泄ケア。



せっかくお家に戻っても、一人でできることが少ないと、生活するのはとても大変。
元の生活に近づくには、入院中からしっかり準備することが、在宅復帰への鍵になります。
多くの病院で行われている悪い慣習は、その在宅復帰の妨げとなるものが多いのです。
私たちは入院時によくあるこの慣習を取り払い、高齢者の在宅復帰をサポートしています。



当院が取り組む **GOOD** ポイント

「楽しく、目的のある離床」で、

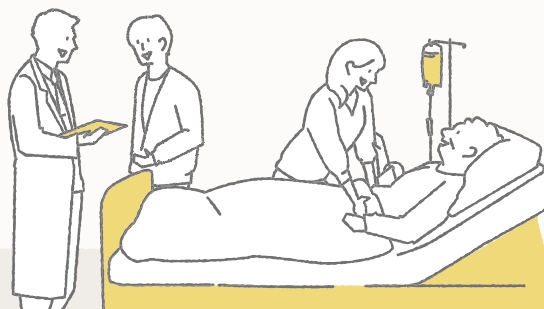
心身機能の低下を防ぎます。



「抑制しない工夫」が

患者さんのために

なるのです。



病気を治すには、

「きちんとした食事」が

必須です。

適切な評価とリハビリテーションで、

「口から食べる」を

サポートします。



膀胱・直腸リハビリをしっかりと行うことで、

在宅復帰につなげます。



2つの
病棟でサポート
します！



病棟のご紹介

患者さんをスムーズに受け入れ、積極的なリハビリテーションと治療で、
早期の在宅復帰をサポートいたします。

▼ 回復期リハビリテーション病棟

病床数：45床

リハビリテーションに特化した専門病棟です

脳血管疾患や骨折の急性期治療が終了した患者さんを受け入れ、多職種によるチームで質の高いリハビリテーションを提供、心身の回復を図り早期の在宅復帰を目指します。退院後には関連施設や地域病院等と連携し復帰後の生活をサポート。1日のすべてがリハビリテーションにつながるような生活を提供することが特長です。

▼ 医療療養病棟

病床数：104床

急性期医療の治療後も療養が必要な方を受け入れます

高度急性期病院での治療が終わったものの症状が安定せず、すぐに在宅復帰できない患者さんを受け入れます。ご自宅や施設への復帰を目標に、集中的な治療と積極的なリハビリテーションを施すことで症状を安定させ、早期復帰をサポート。退院後に治療を要する状態となった際も、迅速に受け入れが行えるよう体制を整えています。



平成医療福祉グループ SNSをフォローしよう!

グループ病院・施設の紹介や、
健康レシピに川柳、
思わず取り組みたくなるレク動画など
楽しいコンテンツを更新しています。
新企画も続々スタート！
ぜひご注目ください！

@HMW.group



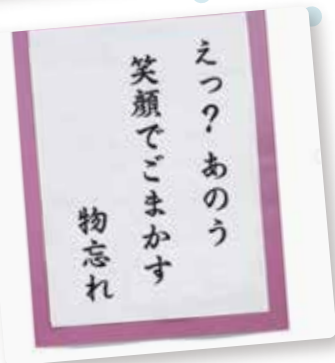
【第28回】ひとプロジェクト



@hmw_group



フォロー&いいね！を
お願いします！



平成医療福祉グループ





人間ドック 健康診断の ご案内

大切なのは早期発見、早期治療、そして予防です。
みなさんの健康維持、増進のサポートを
いたします。



地域のみなさんの健康をサポートします

適切な予防のための 人間ドックコース設定

ニーズに合わせた人間ドックコースとオプション検査を豊富にご用意しています。生活習慣病のほか、心疾患や特定のがんなど、疾病の早期発見・予防のために最適な組み合わせとなるよう努めています。



専門的な見地からの アドバイスを実施

病気の早期発見・予防に努めるのはもちろん、診断結果に応じて、医師や看護師、管理栄養士など専門スタッフが適切なアドバイスを実施。ご希望に合わせて健康管理のサポートをさせていただきます。



当院で実施している 人間ドック・ 健康診断

人間ドック

健康診断よりも検査範囲が広く、より専門的に調べるため、がんなど重篤な疾患の発見・予防に役立ちます。オプションを追加することで、気になる点をさらに検査することも可能です。

健康診断

現在の基本的な健康状態を確認しながら、生活習慣病を中心とした検査を行い、そのリスクを調べます。定期的の実施することで、健康管理に役立てることができます *健康診断は完全予約制です。

協会けんぽの健康診断

年度内で一度に限り、協会けんぽが健診費用の一部を負担する健康診断です。一般的な健診のほかに付加健診もしています。

岸和田市の健診

当院では岸和田市の市民健診や特定健診も実施しています。岸和田市国民健康保険に加入されている40～74歳の方は、自己負担なく検査を受けられます。

バス健診

医師をはじめとする医療技術者が、職場や学校などへ検診車でお伺いして健康診断を行います。移動時間の節約、受診率の向上などが期待できます。

受診の流れ

1 予約と事前準備

電話で予約後、検査に必要な書類を送付しますので、受診日までに必要事項を記入してください。

2 健診当日

指定時間に受付へお越しください。コース・オプションに合わせてご案内いたします。



3 受診後

結果票を送付いたします。結果により、再検査や外来受診が必要になる場合があります。

! 診断結果に異常がみられた場合は当院で治療を受けることができます

病院との連携で 安心のフォロー体制

2次検査や精密検査の必要がある場合、当院の診療科で対応することが可能です。高次の医療機関での治療が適切と判断した際は、ほかの医療機関の紹介もさせていただきます。



検査結果は変化する可能性がありますので、年1回は健康診断を受診し、健康状態を確認することが大切です。



人間ドック、健康診断については **当院Webサイトへ**

岸和田平成病院 健診



訪問サービス

こんな方が対象です

- ✓ 通院することが難しい方
- ✓ 在宅生活で介助が必要な方
- ✓ 自宅でリハビリを受けたい方

主治医と連携しながらきめ細やかなケアで在宅生活をサポート

看護師がご自宅を訪問し、主治医の指示のもと、健康チェックや医療的処置、日常生活の支援を行うサービスです。「月2回の訪問診療だけでは心配」「自宅での生活に慣れるまで様子を見に来てほしい」といったご希望に合わせて、安心した療養生活が送れるようサポートします。

一人ひとりの暮らしに合わせて自立した生活を目指した介護

介護福祉士などの資格を有したホームヘルパーがご自宅にお伺いし、食事、排泄、入浴など身体介助のほか、掃除、洗濯、調理などの生活援助、また通院時の外出移動サポートなどを行うサービスです。利用者さんの状況に合わせて、住み慣れた環境で自立した生活を送れるように支援を行います。

自分らしい在宅生活を送るため住環境に合わせたリハビリテーション

理学療法士と作業療法士が利用者さんのご自宅を訪問し、リハビリテーションを提供するサービスです。身体機能面の維持回復はもちろん、生活しやすい住宅環境の設定や介助者への介助ポイントのアドバイスを実施。利用者さんが住み慣れた環境で、自分らしく生活ができるよう、専門スタッフがサポートいたします。

訪問看護

訪問介護

訪問リハビリテーション



訪問エリア

岸和田市／泉大津市／忠岡町／貝塚市

通所サービス

こんな方が対象です

- ✓ 自宅での介護負担を減らしたい方
- ✓ 気分転換や交流の機会を作りたい方
- ✓ 日常動作での不安を解消したい方



デイサービス

9:45-16:00

送迎あり

多彩なプログラムを通して 一日を楽しく過ごす

理学療法士と作業療法士を配置し、専門的なリハビリテーションを提供しています。食事、入浴など日常生活の支援や多彩なレクリエーション、健康チェックやリハビリテーションなど、さまざまなサービスを提供します。楽しく過ごせるプログラムを通し、利用者さんの寂しさや不安の解消、心身機能の維持回復、ご家族の介護負担軽減などに努めるサービスです。



外来リハビリ テーション

9:00 - 17:00

退院後のリハビリテーションや 日常での体のお悩みに

利用者さんが可能な限り自宅で自立した生活ができるよう、リハビリテーションを受けることができるサービスです。一人ひとりに合わせたオーダーメイドのリハビリテーションの提供や物理療法を用いて生活向上や日常生活の支援を目指します。



利用エリア

岸和田市／泉大津市／忠岡町

入院のお申し込み

病院からのご紹介



まずはお電話にてお問い合わせください。



診療情報提供書、
血液データ等を
FAXしてください。



必要に応じて
入院事前面接を行います。



受け入れ調整後
入院となります。

在宅主治医・施設からのご紹介



まずはお電話にて
お問い合わせください。



診療情報提供書、ADL表、
血液データ等を
FAXしてください。



受け入れ調整後
入院となります。

※事情により診療情報提供書がすぐに
準備できない場合でもご相談可能です。

レスパイト入院について

常時医療管理が必要な方が在宅で療養されていて、ご家族(介護者)の事情(冠婚葬祭、旅行、病気、介護疲れなど)により在宅介護が一時的に困難になった場合に、当院で短期入院をすることができます。

利用可能な方

- 介護保険によるショートステイが困難で、医療的管理が必要な方
- 神経難病の方、人工呼吸器を装着された方
- 胃瘻など経管栄養の方
- 自力歩行や排泄が困難な方

ご利用の流れ

レスパイト入院について、まずはお電話でお問い合わせください。
なお、レスパイト入院は空きベッドを利用して行います。
必ずしもご希望に添えない場合がありますので、
あらかじめご了承ください。



絶対に見捨てないプロジェクト

絶対に見捨てないプロジェクト

身体抑制は、廃止します。

BAD

GOOD

身体抑制は、患者さんの権利を侵害する行為です。身体抑制を廃止し、患者さんの自立を促すことが重要です。

身体抑制は、患者さんの安全を確保するための手段として、かつては広く使われていました。しかし、近年の研究により、身体抑制は患者さんの身体機能の低下や、心理的な苦痛を引き起こすことが明らかになりました。

身体抑制を廃止し、患者さんの自立を促すためには、看護師、医師、介護士、家族などが協力して、患者さんの状態をしっかりと観察し、適切なケアを提供することが重要です。

半信地薬研社グループ
SEITEN-REIJI YAKUEN SHU-GOUPU

絶対に見捨てないプロジェクト

みんなに嬉しい食事を。

BAD

GOOD

食事は、患者さんの生活の楽しみであり、栄養摂取の重要な機会です。みんなに嬉しい食事を提供することが重要です。

食事は、患者さんの生活の楽しみであり、栄養摂取の重要な機会です。みんなに嬉しい食事を提供することは、患者さんの生活の質を向上させるために重要です。

食事を提供する際には、患者さんの嗜好やアレルギーなどを考慮し、適切な食事を提供することが重要です。また、食卓でのコミュニケーションを促進し、患者さんの食事を楽しい時間にするように努めます。

半信地薬研社グループ
SEITEN-REIJI YAKUEN SHU-GOUPU

絶対に見捨てないプロジェクト

目的を持った離床を。

BAD

GOOD

離床は、患者さんの身体機能の回復を促す重要な手段です。目的を持った離床を推進することが重要です。

離床は、患者さんの身体機能の回復を促す重要な手段です。目的を持った離床を推進することは、患者さんの生活の質を向上させるために重要です。

離床を推進するためには、看護師、医師、介護士、家族などが協力して、患者さんの状態をしっかりと観察し、適切なケアを提供することが重要です。また、患者さんの離床の目的を明確にし、その目的を達成するためのサポートを提供します。

半信地薬研社グループ
SEITEN-REIJI YAKUEN SHU-GOUPU

絶対に見捨てないプロジェクト

「自分でトイレ」を、応援します。

1

2

3

4

トイレは、患者さんの生活の重要な場面です。「自分でトイレ」を応援することが重要です。

トイレは、患者さんの生活の重要な場面です。「自分でトイレ」を応援することは、患者さんの生活の質を向上させるために重要です。

「自分でトイレ」を応援するためには、看護師、医師、介護士、家族などが協力して、患者さんの状態をしっかりと観察し、適切なケアを提供することが重要です。また、患者さんのトイレの自立を促すためのサポートを提供します。

半信地薬研社グループ
SEITEN-REIJI YAKUEN SHU-GOUPU

絶対に見捨てないプロジェクト

「口から食べる」を、応援します。

1

2

3

4

食事は、患者さんの生活の楽しみであり、栄養摂取の重要な機会です。「口から食べる」を応援することが重要です。

食事は、患者さんの生活の楽しみであり、栄養摂取の重要な機会です。「口から食べる」を応援することは、患者さんの生活の質を向上させるために重要です。

「口から食べる」を応援するためには、看護師、医師、介護士、家族などが協力して、患者さんの状態をしっかりと観察し、適切なケアを提供することが重要です。また、患者さんの食事を楽しい時間にするためのサポートを提供します。

半信地薬研社グループ
SEITEN-REIJI YAKUEN SHU-GOUPU

絶対に見捨てないプロジェクト

多剤内服には、させません。

1

2

3

4

多剤内服は、患者さんの身体機能の低下や、心理的な苦痛を引き起こす可能性があります。多剤内服には、させません。

多剤内服は、患者さんの身体機能の低下や、心理的な苦痛を引き起こす可能性があります。多剤内服には、させないことは、患者さんの生活の質を向上させるために重要です。

多剤内服を防止するためには、看護師、医師、介護士、家族などが協力して、患者さんの状態をしっかりと観察し、適切なケアを提供することが重要です。また、患者さんの薬の服用を管理し、多剤内服を防止するためのサポートを提供します。

半信地薬研社グループ
SEITEN-REIJI YAKUEN SHU-GOUPU

グループ全体の大きな取り組みとして、「積極的な離床」「多剤内服の防止」「食事への楽しみ」「身体抑制の廃止」「排泄機能の回復」「摂食・嚥下の回復」の6つを推進しています。これを理念にのっとり「絶対に見捨てないプロジェクト」として、グループ全体で取り組んでいます。しっかりと意識して取り組むため、また、患者さんへもその取り組みを知っていただくために、院内にプロジェクトポスターを掲出しています。プロジェクトでどんなことをしているのか、ぜひご覧ください！



一般財団法人 岸和田農友協会
 **岸和田平成病院**
 KISHIWADA HEISEI HOSPITAL

〒596-0006 大阪府岸和田市春木若松町3番33号

 **072-422-1763**

info@kishiwadahp.jp/www.kishiwadahp.jp

- お車の場合 阪神高速湾岸線 岸和田北 IC から約 5 分
- 電車の場合 南海本線 春木駅より徒歩約 5 分
 南海本線 難波駅より電車で約 20 分
 関西国際空港より電車で約 20 分